



# 毎月20日は ペットフードの日

## ペットの肥満と十分な運動について

### ペットの肥満

近年、ペットの肥満が増えています。肥満は、ただ、太っているだけの状態ではなく、最近では、脂肪細胞が産生するホルモンの影響で、さまざまな病気がおこることが確認され、肥満そのものを病気とする考え方が強まってきました。一般に示されている体重は飽くまで標準的な値であって、個々の犬・猫の肥満を判断する場合一般的にはボディコンディションスコアが用いられます。

### 肥満の原因

肥満の要因は、摂取したエネルギーが多く、消費するエネルギーが少ないことにあります。食事量が多い、常に人の食べ物を与えている、おやつが多い、脂肪分や糖分多いものを食べている等です。消費エネルギーが少ない理由としては、散歩やおもちゃで遊ぶ等の運動時間が十分でないなどが挙げられます。肥満を防ぐには、適切な食事量と内容、運動量を維持することが基本となります。

### 肥満になったら

生活習慣を見直し、肥満の原因と考えられることを改善していく、必要があります。肥満時の食事管理では、通常の食事を大幅に減らしたり絶食したりすると、エネルギーだけでなく、必要な栄養素までも摂取できなくなり、健康状態が悪くなってしまふことがあります。そのため肥満になってしまった場合、獣医師のアドバイスを受けながら減量に取り組む必要があります。

犬のボディコンディションスコア (BCS) ペットフード/ペットマナー検定公式テキストより

BCS	1	2	3	4	5
	やせすぎ	やせ気味	理想体重	太り気味	太りすぎ
体脂肪(%)	≦5	6~14	15~24	25~34	35≧
肋骨	肋骨に覆われず容易に触ることができる	ごく薄い脂肪に覆われ、容易に触ることができる	薄い脂肪に覆われ、触ることができる	脂肪に覆われ、触ることは難しい	厚い脂肪に覆われ、触ることは非常に難しい
腰部	脂肪がなく骨格が浮き出ている	脂肪はわずかであり、骨格が浮き出ている	薄い脂肪に覆われ、骨格はかろうじて触ることができる	やや厚みがあり、骨格はかろうじて触ることができる	厚みがあり、骨格に触ることは非常に難しい
体型	横から見ると腹部のへこみは深く、上から見ると極端な砂時計型をしている	横から見ると腹部にへこみがあり、上から見ると顕著な砂時計型をしている	横から見ると腹部にへこみがあり、上から見ると腰に過度なくびれがある	横から見ると腹部のへこみは浅く、上から見るとほとんどなく、背骨はわずかに感じられている	腹部は張り出してたれがあり、上から見ると腰のくびれはなく、背骨は顕著に広がっている

猫のボディコンディションスコア (BCS) ペットフード/ペットマナー検定公式テキストより

BCS	1	2	3	4	5
	やせすぎ	やせ気味	理想体重	太り気味	太りすぎ
体脂肪(%)	≦5	6~14	15~24	25~34	35≧
肋骨	肋骨に覆われず容易に触ることができる	ごく薄い脂肪に覆われ、容易に触ることができる	わずかな脂肪に覆われ、触ることができる	脂肪に覆われ、触ることは難しい	厚い脂肪に覆われ触ることは非常に難しい
腰部	容易に触ることができる	容易に触ることができる	なだらかな隆起を感ずることができる	やや厚い脂肪に覆われている	厚く硬い力のある脂肪に覆われている
体型	横から見ると腹部のへこみは深く、上から見ると極端な砂時計型をしている	横から見ると腹部にへこみがあり、上から見ると腰に過度なくびれがある	腹部はごく薄い脂肪に覆われ、腰に過度なくびれがある	腹部は丸みを帯びた薄い脂肪に覆われ、腰のくびれはほとんどない	非常に厚い脂肪に覆われ腰にくびれはない



一般社団法人 ペットフード協会

ペットフード/ペットマナー検定公式テキストより